



ファブリック インターコネクットの提供

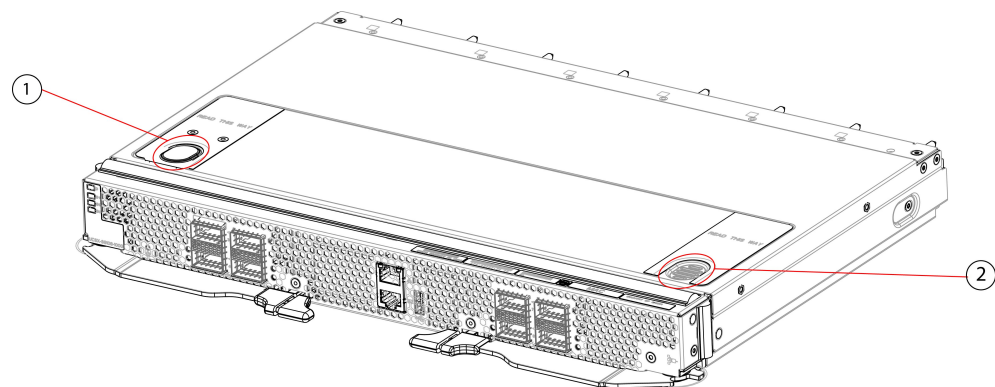
この章は次のトピックで構成されています。

- [上部カバーの取り付けと取り外し \(1 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクットのコンポーネント \(4 ページ\)](#)
- [Cisco UCS X シリーズ ダイレクト ファブリック インターコネクット モジュールの現場交換可能ユニットの交換手順 \(6 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクット ファン の取り付けと取り外し \(7 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクット M.2 ミニストレージ モジュールの取り付けおよび取り外し \(9 ページ\)](#)
- [ミニストレージ SSD の取り付けおよび取り外し \(11 ページ\)](#)

上部カバーの取り付けと取り外し

Cisco UCS X シリーズ ダイレクト 9108 100G ファブリック インターコネクットの上部カバーを取り外して、内部コンポーネント（一部は現場交換可能）にアクセスできます。上部カバーの片面にはリリース ボタン、もう片面にはエンボスがあります。

- リリース ボタンは、ファブリック インターコネクットから取り外せるようにカバーのロックを解除します。
- エンボスは、カバーの両側に均等な力を加えることができるように、2 つ目のフィンガー ホールドを提供します。



481626

1	リリース ボタン (Release Button)	2	フィンガーホールドとして使用できるエンボス
---	---------------------------	---	-----------------------

上部カバーの取り外しと取り付けを行う手順は、次のとおりです。

- [上部カバーの取り外し \(3 ページ\)](#)
- [上部カバーの取り付け \(2 ページ\)](#)

上部カバーの取り付け

通常のランタイム動作中は、ファブリック インターコネクットに上部カバーを取り付ける必要があります。ファブリック インターコネクットで作業していないときは、必ず上部カバーを取り付けたままにしてください。

次のタスクを活用して、上部カバーを取り付けます。

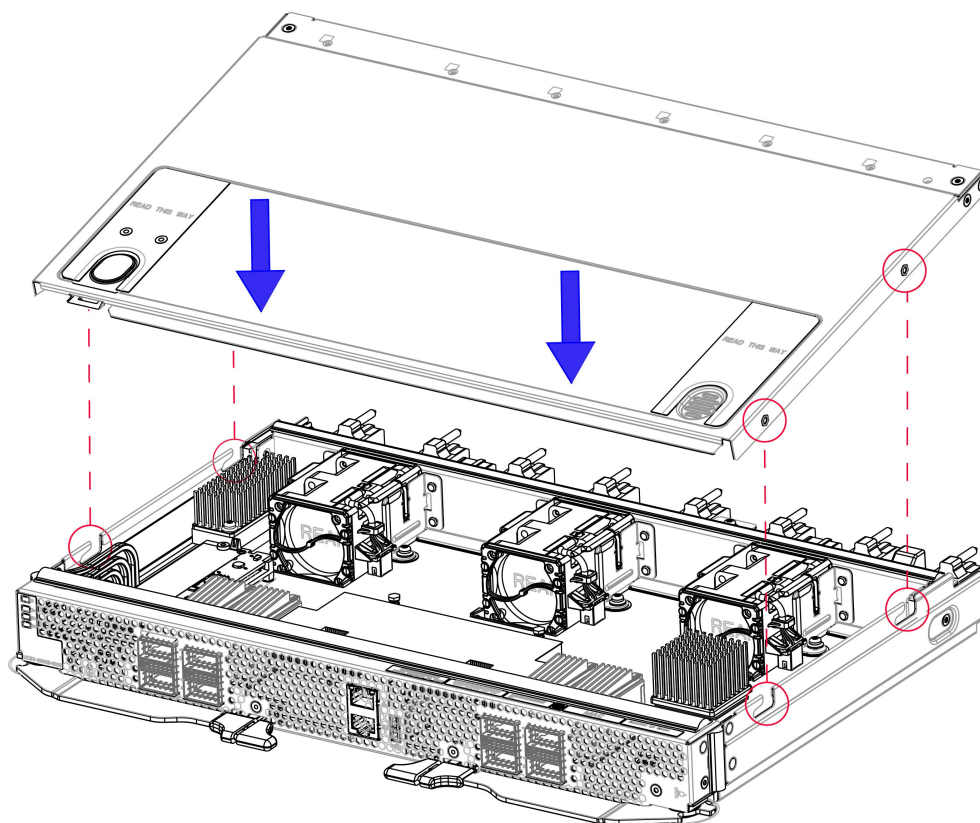
始める前に

上部カバーには、上部カバーの内側のキャッチ ピンとファブリック インターコネクットの側面の切り欠きで構成される配置機能があります。これらの機能が満たされている場合、モジュールは正常に取り付けできます。

-
- ステップ 1** ファブリック インターコネクットの上に上部カバーを同調します。
- ステップ 2** カバーのエッジを少し下に傾けながら、上部カバーをファブリック インターコネクットの上に下ろします。
- ステップ 3** 上部カバーがファブリック インターコネクットと同じ高さになっていることを確認し、キャッチピンが切り欠きに挿入されるまで上部カバーを前面パネルの方向にスライドさせます。

(注) 上部カバーのボタンとエンボスを使用して、上部カバーを所定の位置にスライドさせるときに、上部カバーの両側に均等な力を加えることができます。

上部カバーのエッジが前面パネルのエッジの下にスライドする必要があります。上部カバーが完全に取り付けられると、リリース ボタンがカチッと音を立えます。



481623

次のタスク

準備ができたなら、ファブリック インターコネクートをシャーシに再取り付けします。「[ファブリック インターコネクートのインストール](#)」を参照してください。

上部カバーの取り外し

ファブリック インターコネクートには、コンポーネントを保護し、適切な換気と冷却を促進するシートメタルの上部カバーがあります。上部カバーを取り外すには、次の手順に従います。

始める前に

ファブリック インターコネクート コンポーネントを保守するには、上部カバーを取り外す必要があります。サーバ シャーシからファブリック インターコネクートをまだ取り外していない場合は、ここで取り外します。[ファブリック インターコネクートの取り外し](#)を参照してください。

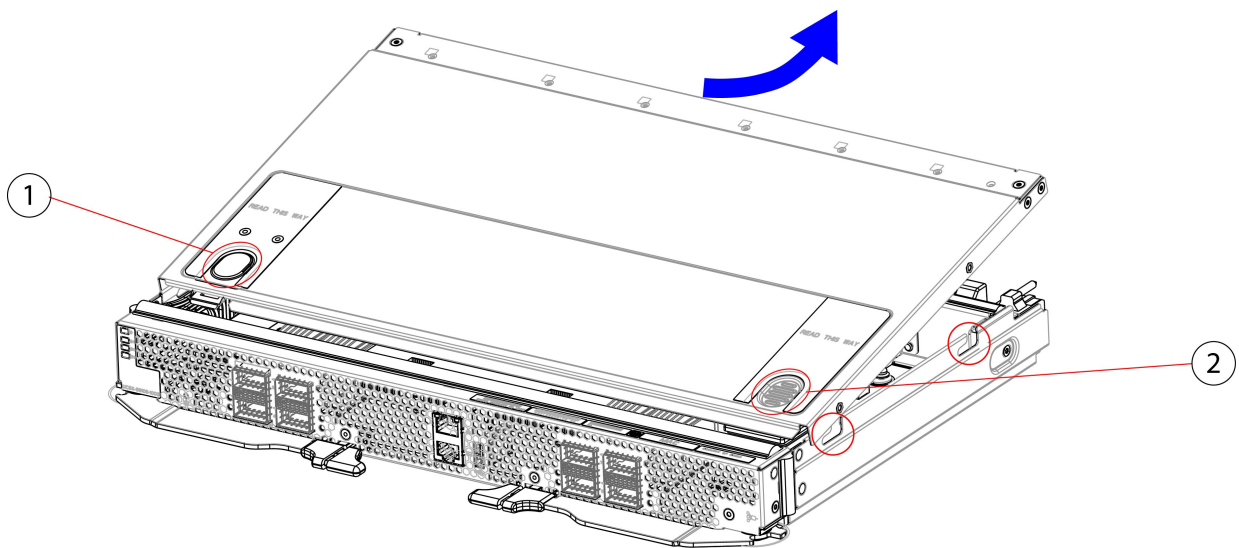
ステップ1 ファブリック インターコネクットを静電気防止用の作業台に平らに置きます。

ステップ2 指を使って、カチッという音がするまでリリース ボタンを押します。

ステップ3 リリースボタンとエンボスフィンガーホールドを使用して、上部カバーの後端を少し持ち上げながら、上部カバーを後方にスライドさせます（前面パネルから離れるように）。

上部カバーの後端をゆっくり持ち上げると、反対側の端の圧力がリリースされ、上部カバーの前端がファブリック インターコネクットのシートメタル端の下からスライドして引き出されます。

（注） キャッチ ピンがシートメタルの切り欠きから外れるように、上部カバーをスライドさせます。



481628

1	リリース ボタン (Release Button)	2	エンボス フィンガーホールド
---	---------------------------	---	----------------

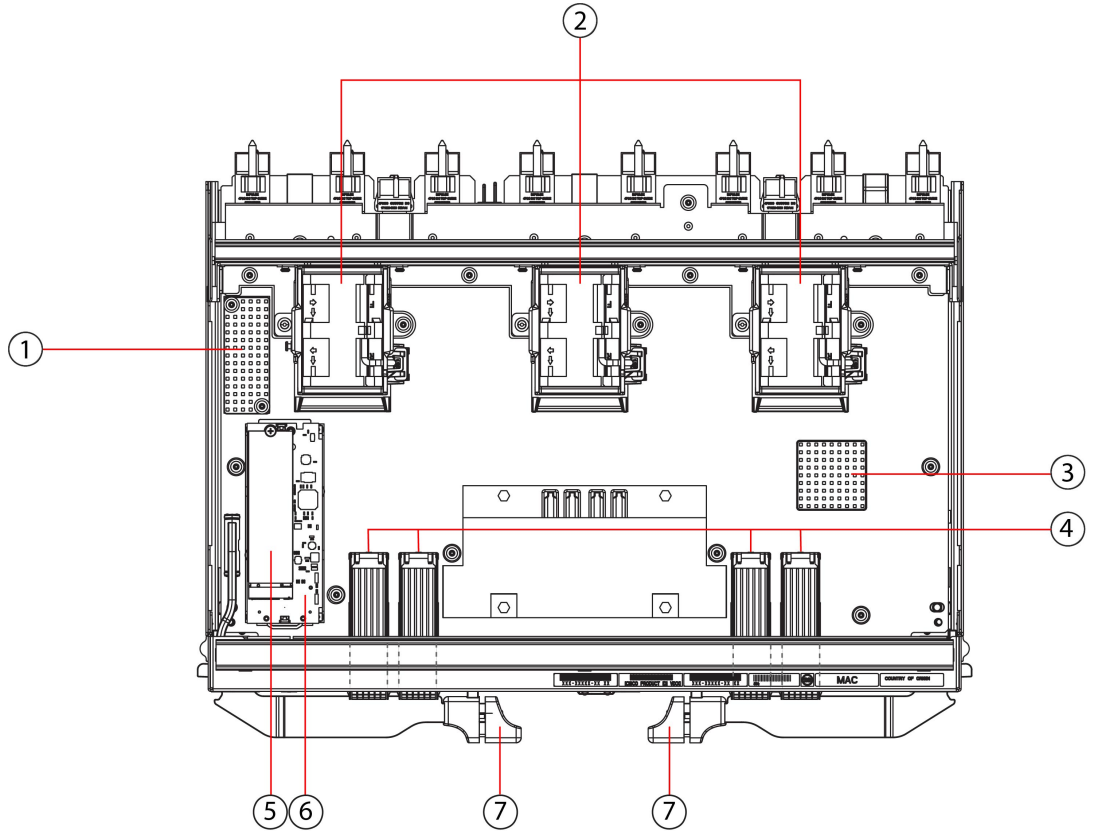
次のタスク

ファブリック インターコネクットのメンテナンス作業を行った後、上部カバーを再度取り付けます。「[上部カバーの取り付け \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

ファブリック インターコネクットのコンポーネント

Cisco UCS X シリーズ ダイレクト ファブリック インターコネクット 9108 100G (UCSX-S9108-100G) は、次のボードレベル コンポーネントがあります。

図 1:ファブリック インターコネクット、コンポーネント図



481624

1	ヒートシンク (現場交換不可)	2	左のファンから1~3の番号が付けられたファン (UCSX-RSFAN=)、 3
---	-----------------	---	--

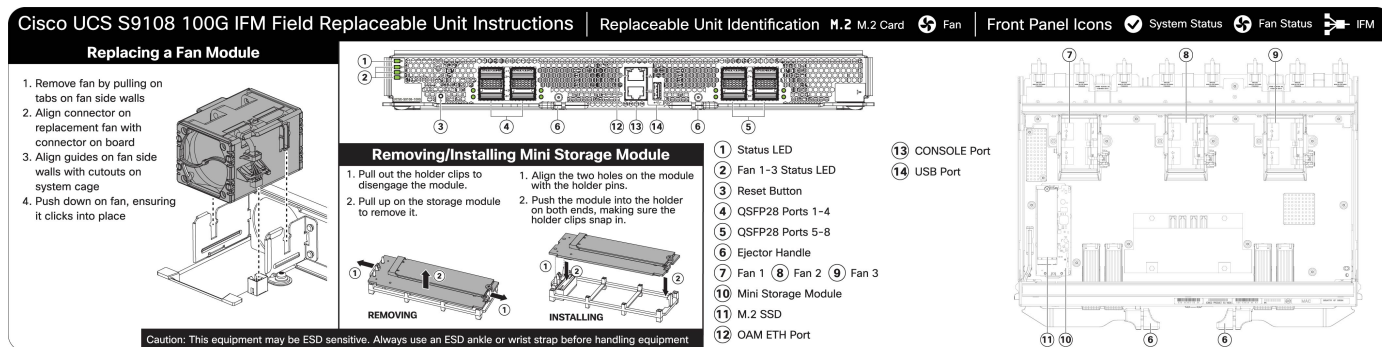
3	ヒートシンク（現場交換不可）	4	<p>QSFP28 光ポート。</p> <p>ポートは、4つの物理ポートの2つのグループに配置されます。ポートは垂直のペアでスタックされ、各垂直ポートスタックに2つのポートがあります。</p> <p>左から右に：</p> <p>ポート番号1はこのグループの左側のポートペアの一番上のポートで、ポート番号3はグループの右側のポートペアの一番上のポートです。</p> <p>ポート番号5はこのグループの左側のポートペアの一番上のポートで、ポート番号7はグループの右側のポートペアの一番上のポートです。</p>
5	M.2 240G SATA、1。	6	M.2 SATA SSD を保持するミニストレージキャリア。
7	<p>イジェクタハンドル、2つ、側面ごとに1つ。</p> <p>ファブリック インターコネク ト が取り付けられている場合は、イジェクタハンドルロックが使用されます。</p>		

Cisco UCS X シリーズ ダイレクト ファブリック インターコネク ト モジュールの現場交換可能ユニットの交換手順

Cisco UCS X9508 の背面には、ファンの上に UCS X シリーズ ダイレクト ファブリック インターコネク ト 9108 100G（ファブリック インターコネク ト モジュール）用の2つのモジュールベイがあります。

ファブリック インターコネク ト モジュールの現場交換オプションについては、次の図を参照してください。

図 2: Cisco UCS Xシリーズ ダイレクト ファブリック インターコネクット 9108 100G モジュール (UCSX-S9108-100G) FRUの交換手順



476039

ファブリック インターコネクット ファンの取り付けと取り外し

Cisco UCS X シリーズ ダイレクト ファブリック インターコネクット 9108 100G には、オンボードファン (UCSX-RSFAN=) が含まれています。これらのファンは、ファブリックインターコネクットと UCS インテリジェント ファブリック モジュール (IFM) の間で交換可能ですが、Cisco UCS X9508 サーバシャーシのファンとは交換できません。一般的な構成では、ファブリック インターコネクットで 1-3 の番号が付いた 3 つのファンがあります。



- (注) ファブリック インターコネクット (UCSX-RSFAN=) のファンは、サーバシャーシ全体に冷却と換気を提供するシャーシファンモジュール (UCSX-9508-FAN) とは異なります。これら 2 種類のファンの間には互換性はありません。

ファブリック インターコネクットのファンを交換するには、次の手順を活用します。

- [ファブリック インターコネクット ファンの取り外し \(7 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクット ファンの取り付け \(8 ページ\)](#)

ファブリック インターコネクット ファンの取り外し

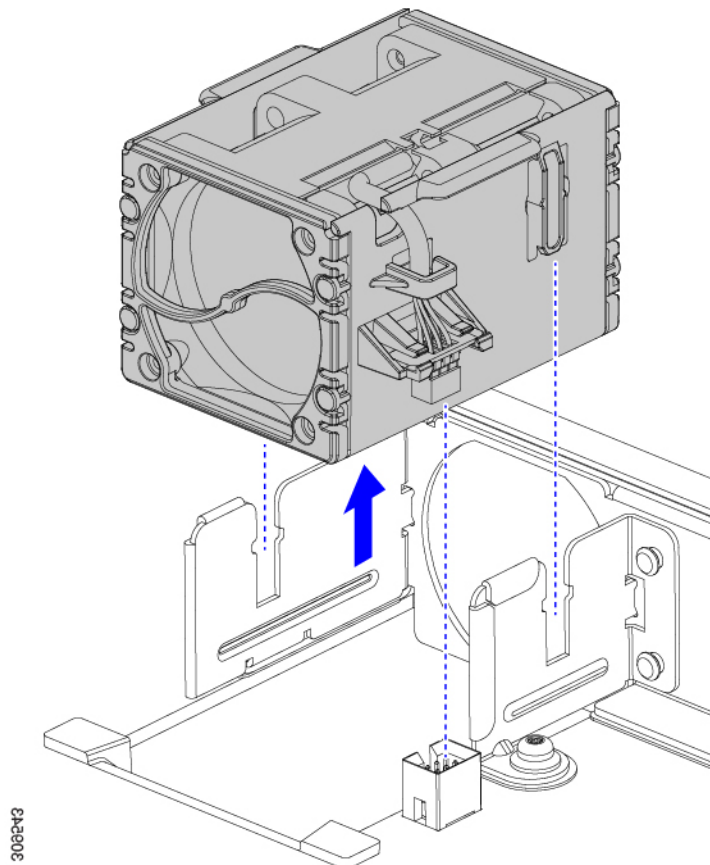
ファブリック インターコネクットからファンを取り外すには、次の手順を実行します。

ステップ 1 長い各側面のタブでファンをつかみます。

ステップ 2 ファンをまっすぐ引き上げます。

この手順では、ファンを電源コネクタから外し、ファンをボードから持ち上げます。

図 3: ファブリック インターコネクト から ファン を 取り 外 す



次のタスク

ファン モジュール の 挿入。「[ファブリック インターコネクト ファン の 取り 付け \(8 ページ\)](#)」に進みます。

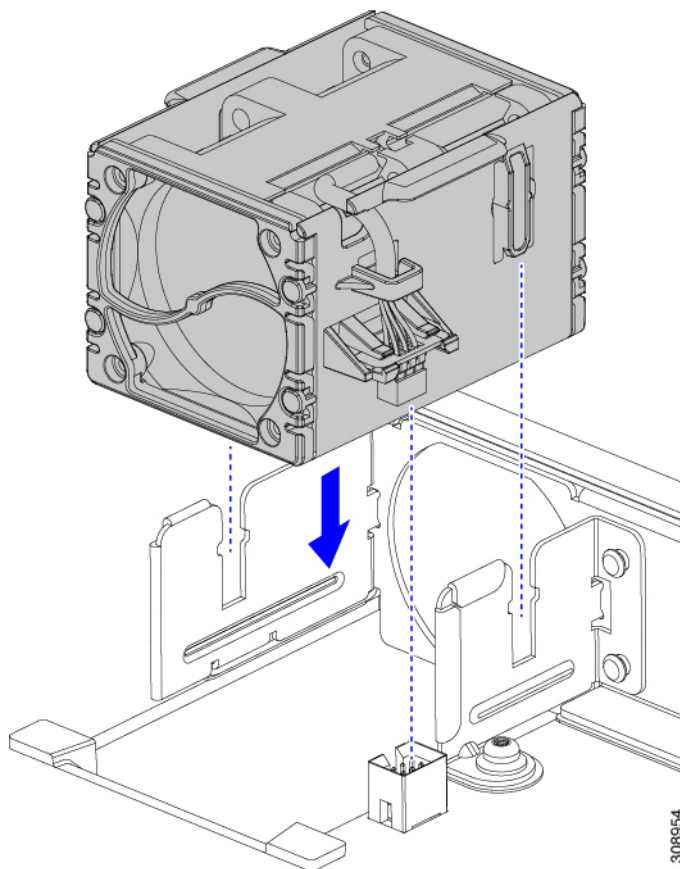
ファブリック インターコネクト ファン の 取り 付け

このタスクを活用して、ファブリック インターコネクト の ファン (UCSX-RSFAN=) を 取り 付け ます。

ステップ 1 ファン を 正しく 位置 合わせ します。

- a) 交換用ファンの電源コネクタをボードの電源コネクタに合わせます。
- b) 長いファンの側面のガイドをモジュールの対応する切り欠きに合わせます。

図 4: ファンの位置合わせ



ステップ 2 ファンが完全に装着されるまで、ファンを均等に押し下げます。

取り付け中は、ファンが水平になっていることを確認します。モジュールまたはモジュールブラックにファンが正しく装着されると、カチッという音がします。

ファブリック インターコネクット M.2 ミニストレージ モジュールの取り付けおよび取り外し

各ファブリック インターコネクットには、M.2 ミニストレージ モジュールの形式で独自のオンボードストレージ機能があります。各ミニストレージモジュールは、スレッドまたは M.2 SATA SSD で構成されます。M.2 ストレージモジュールは、シャーシ内のファブリック インターコネクット間で交換可能です。M.2 ストレージモジュールは、スレッドと同様に現場交換可能です。

M.2 ミニストレージモジュールを交換するには、次の手順を実行します。

- [ファブリック インターコネクット M.2 ミニストレージモジュールの取り付け \(11 ページ\)](#)
- [ファブリック モジュール M.2 ミニストレージモジュールの取り外し \(10 ページ\)](#)

ミニストレージに関する考慮事項

ミニストレージモジュールまたはその SSD の取り付けまたは取り外しを行う場合は、次の点に注意してください。

- M.2 SSD は SATA にする必要があります。
- SSD のソケットはキャリアの上部にあります。ミニストレージモジュールをファブリック インターコネクットに取り付ける場合は、この SSD が上を向いていることを確認します。

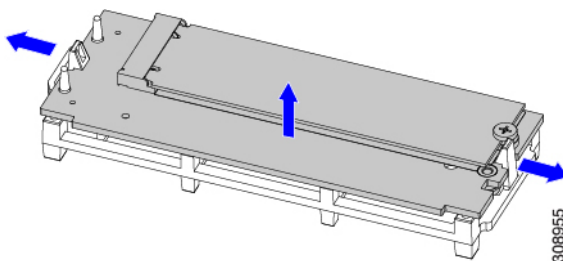
ファブリック モジュール M.2 ミニストレージモジュールの取り外し

このタスクを使用して、ファブリック インターコネクットの M.2 ミニストレージモジュールを取り外します。

ステップ 1 指を使用して保持クリップを外側に引き、M.2 ミニストレージモジュールに圧力をかけ、キャリアから取り外します。

ステップ 2 M.2 モジュールの長い側面をつかみ、引き上げてキャリアから取り外します。

図 5: M.2 ミニストレージモジュールの取り外しと取り外し



次のタスク

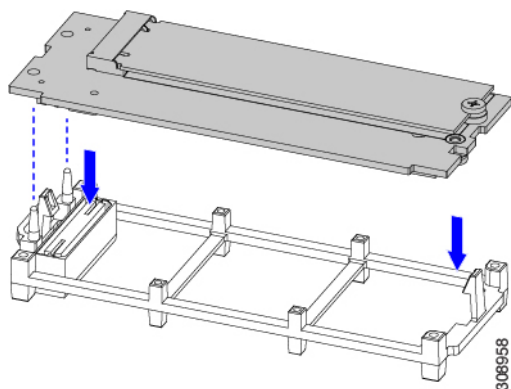
新しい M.2 ストレージモジュールを挿入します。「[ファブリック インターコネクット M.2 ミニストレージモジュールの取り付け \(11 ページ\)](#)」に進みます。

ファブリック インターコネクット M.2 ミニストレージ モジュールの取り付け

M.2 ミニストレージモジュールをファブリック インターコネクットの M.2 モジュールキャリアに取り付けるには、次の作業を実行します。

ステップ1 モジュールの長辺を持ち、モジュールの短辺の2つの穴を M.2 モジュールホルダーの保持ピンに合わせます。

図 6: M.2 ミニストレージ モジュールの位置合わせと取り付け



ステップ2 キャリアの四隅を押して、完全に装着します。

M.2 モジュールがキャリアに装着されている間、水平になっていることを確認します。モジュールが所定の位置にカチッと収まり、両方の保持クリップがかみ合っている場合、モジュールは正しく装着されています。

ミニストレージ SSD の取り付けおよび取り外し

ミニストレージモジュールをマザーボードのソケットに差し込むことにより、内部ストレージを追加します。ミニストレージモジュールには、1つの M.2 フォーム ファクタ SSD が含まれています。

ミニストレージ SSD の取り付けまたは取り外しについては、次を参照してください。

- [ミニストレージ SSD の取り外し \(12 ページ\)](#)
- [ミニストレージ SSD の取り付け \(12 ページ\)](#)

ミニストレージ SSD の取り外し

ここでは、ミニストレージ モジュールの M.2 SATA SSD を取り外して交換する方法について説明します。モジュールの上部に M.2 SSD ソケットが 1 つあります。

始める前に

M.2 SSD にアクセスするには、ミニストレージ モジュールをファブリック インターコネクタから取り外す必要があります。ミニストレージ モジュールをまだ取り外していない場合は、ここで取り外します。[ファブリック モジュール M.2 ミニストレージ モジュールの取り外し \(10 ページ\)](#) を参照してください。

No.1 プラス ドライバを入手します。

ステップ 1 ファブリック インターコネクタから取り外したミニストレージ モジュールで、No. 1 プラス ドライバを使用して、M.2 SSD をキャリアに固定している 1 本のネジを外します。

ステップ 2 キャリアのソケットから M.2 SSD を持ち上げます。

ネジの反対側のソケットをクリアするために、SSD を傾けてスライドさせる必要がある場合があります。

次のタスク

M.2 SSD を取り付けます。「[ミニストレージ SSD の取り付け \(12 ページ\)](#)」を参照してください。

ミニストレージ SSD の取り付け

M.2 SSD をミニストレージ モジュールに取り付けるか、または再度取り付けるには、このタスクを活用します。

始める前に

このタスクを完了するには、#1 プラス ドライバが必要です。

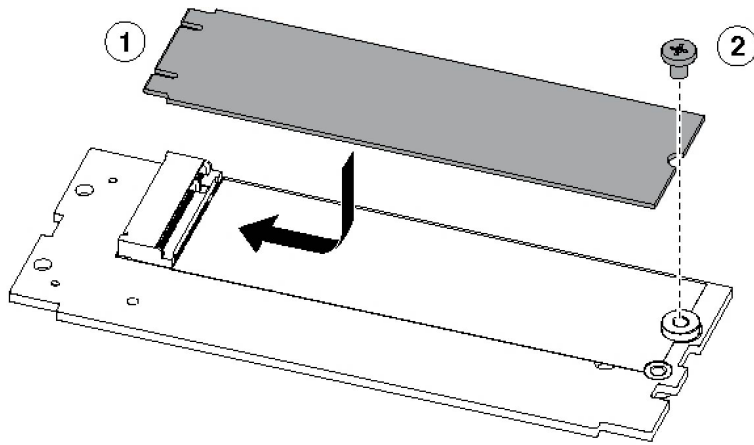
ステップ 1 交換用 M.2 ドライブをミニストレージ モジュールのソケット上に置きます。

ステップ 2 M.2 ドライブを下に向け、コネクタの終端をキャリアのソケットに挿入します。M.2 ドライブのラベルが上向きになっている必要があります。

ステップ 3 M.2 ドライブをキャリアに押し込みます。

ステップ 4 M.2 SSD の終端をキャリアに固定する 1 本のネジを取り付けます。

図 7: M.2 ドライブの取り付けを表示



483445

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。